

2021年6月4日

パナソニックが日本にLGBT平等法制定を目指す署名キャンペーン「EqualityActJapan」に賛同

パナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、日本におけるLGBT平等法の制定を目指すための署名キャンペーン「EqualityActJapan*1」への賛同を表明します。

「EqualityActJapan」キャンペーンは、一般社団法人 性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会（通称：LGBT法連合会）、ヒューマン・ライツ・ウォッチ、アスリート・アライの3団体が協働し、国内外でLGBT平等法の制定を求め署名への賛同を呼びかけているものです。

パナソニックでは、経営理念にもとづく行動基準*2において、基本的人権を尊重するとともに、各国の法令を踏まえ、性的指向、性自認に関する差別的言動を行わないことを宣言しています。LGBTへの理解と対応*3については、「同性パートナーにも慶弔関連・育児・介護支援等の人事関連制度の配偶者に準じた取扱いを適用」「セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントをはじめ、いかなる内容についても相談できる窓口の設置」「LGBTへの理解を促すための社内研修」等、働きやすい環境づくりにも積極的に取り組んでいます。

社会環境が急速に変化し価値観の多様化が進む時代において、ダイバーシティ&インクルージョン（以下、D&I）を受け入れ、多様性を活かすことで個人と企業・組織の力を高めていくことはますます重要となる中、パナソニックは「多様な人材がそれぞれの力を最大限発揮できる最も働きがいのある会社」を目指し、D&Iの取組みを引き続き推進していきます。

*1 EqualityActJapan

<https://equalityactjapan.org/aboutus/>

*2 パナソニック行動基準（第3章 会社と従業員とのかかわり（2）人権の尊重）

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/management/code-of-conduct/chapter-3.html>

*3 LGBTへの理解と対応 - CSR・環境 - 企業情報 - Panasonic

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/diversity/lgbt.html>

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。